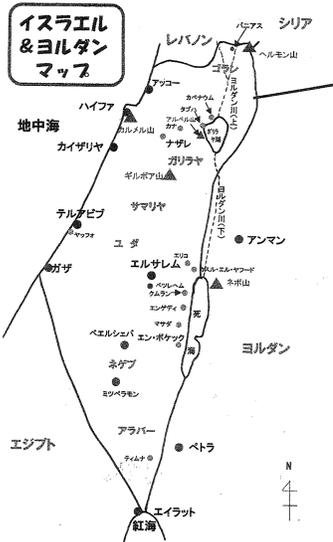


再版：淀橋教会創立110周年記念《アガペー聖地巡礼ヨルダン・イスラエル11日間の旅》に参加して



~行ってきました!イスラエル~

聖地巡礼の一行総勢27名は2015年1月22日、成田空港よりドバイ経由でアンマン入りし、1月22日(木)までの11日間、団長の峯野龍弘先生と共にヨルダン、イスラエルを旅しました。当地は雨期でしたが終始平穏な天候に恵まれ、死海から架かる大きな虹のアーチをくぐり抜けてエルサレム入りをする祝福に満ちた旅でした。訪問地ごとに語られる峯野先生のメッセージに助けられ、主との親しい交わりに全身全霊を満たされ癒されましたことを感謝します。

(1)モーセ最期の地ネボ山頂にて

旅の初日のヨルダン死海浮遊体験の翌日、私たち一行はモーセが約束の地カナンを眺望したと同じネボ山ピスガの頂きに立ちました。皆で「♪静けき祈りの」(讚美歌310、新聖歌190)と賛美する間、私は波乱に満ちたモーセの荒野の40年の苦しみ、涙、痛み、叫びの生涯を想起させられました。モーセは120歳の生涯を閉じようとする時、夢にまで見た約束の地を自分の目で見渡しました。しかし、主はモーセに言われたのです。「あなたはしかし、そこに渡って行くことはできない」(申命記34:4)と。モーセはこの時、まだ山頂に登れるほど気力があり、遠くの地を見渡せるほど目ははっきりしていました。しかし、主の僕モーセは「主の命令によって」、このモアブの地で死んだのです。峯野先生はモーセの生涯をこのように語られました。「誰よりも謙遜であったモーセは、自分の死に際しても従順な者であり、その指導者のバトンをヨシュアに渡したのです」と。カナンの地の占領を約束されたモーセは、自らの従順をもって主に占領されたきよめられた真の指導者であったことを私は心に刻みました。それゆえにモーセを指導者としたイスラエルの人々は、すべて主がモーセに命じられたように、行いう民であったのです。

モーセは、自分の死に際しても従順な者であり、その指導者のバトンをヨシュアに渡したのです」と。カナンの地の占領を約束されたモーセは、自らの従順をもって主に占領されたきよめられた真の指導者であったことを私は心に刻みました。それゆえにモーセを指導者としたイスラエルの人々は、すべて主がモーセに命じられたように、行いう民であったのです。

(2)エルサレム聖地にて

5日目の金曜日夕方、ついにエルサレム市内に到着すると商店や通りの人影はまばらで、すでに安息日が始まっていました。翌日、オリーブ山から展望したユダヤ教の嘆きの壁、キリスト教の聖墳墓教会、イスラム教の岩のドームは三宗教の聖地を一望させ、パレスチナ問題の火種を実感しました。画期的な「クムラン死海文書について」の牧師合同セミナー参加、ヤド・バシエム(ホロコースト博物館)見学。BFPフードバンク、鶏鳴教会、自治区ベツレヘム、ナザレのマリアセンター訪問など、イスラエル滞在三日間を通じてイスラエルの平和への祈りの必要に新たな開眼を迫られました。しかし、世界の観光客で溢れるヴィア・ドロローサ(十字架の道行)の狭い道々やベテスダの池を歩くわが足取りの力強さは何であったのか?聖地の癒しの力が確かに働いた...!

(3)ガリラヤ湖畔にて

エルサレム滞後、ガリラヤ湖畔で二泊しました。時に暴風のため中止されることもあると聞くガリラヤ湖上遊覧も、私たち一行は一大円となり船上でイスラエルのダンスを楽しめるほどの風(なぎ)に恵まれました。エルサレムの園の墓そして山上の垂訓教会に続いて、早朝にティベリアのほとりで三回目の聖餐式が行われました。ガリラヤ湖畔は主の弟子たちの信仰と使命喪失に回復を与え、新出発の原点の地となりました。確かに弟子ペトロたちに、「人間を漁る漁師にしよう」と声をかけられた主は、その後、主を否むペトロをも愛し通されて、「ペトロ、私を愛しているか」と近づき信頼と愛を回復させ、聖霊によりペトロの主への愛を全うさせるご愛を示されたのでした。私はカファルナウムで沈む夕陽に、ティベリアで昇る朝陽の美しさの中で、この主の圧倒的な赦しとご愛に満たされ、「私は再び来る」と約束された主のご再臨の確信を強くせられ、「主よ来たりませ」と祈りを捧げました。(淀橋教会副牧師千葉維保子)

サタデー・トーク

バイブル・トーク

きき手 尾崎一夫 毎週土曜日放送		淀橋教会 峯野龍弘主管牧師 毎週日曜日放送	
2月 1日	いよ子さんのサボテン日記	2月 2日	お便り交換の時間
2月 8日	地球においた宇宙飛行士	2月 9日	聖地巡礼レポート(3)
2月15日	クリスチーンのアメ리카新発見	2月16日	聖地巡礼レポート(4)
2月22日	マリンバの調べ	2月23日	聖書遊覧バス

放送後の番組は、ホームページ(<https://reachbeyond.chowder.jp>)のトップページ左側メニューにある『インターネット放送』のリンクページからお聴きいただけます。(mp3形式)

放送時間：日本時間 午前7時半~8時 17650kHz (再放送) 午後8時~8時半 11905kHz
(米国アリゾナ州制作/オーストラリア送信)

